

太田国交相

交通相·水循環政策担当

た市町村による水害サミ 大規模な水害を

経験し

市町村

|ットが六月九日、東京・ 千代田区の毎日ホールで

開かれた。太田昭宏国土

る防災・減災対策などを ら得た教訓を全国へ発信 う。 災の観点から提言を行 するとともに、防災・減 平成十七年からスタ

思いを語り合い、経験か 同サミットは治水への

甚的水害が発生してい ち「集中的・局地的・激 田国交相があいさつに立 潟県三条市長に続いて太 発起人代表の國定勇人新 村長が出席。実行委員会

水害サミットで意見交換 当日は全国の十八市町 災害に

被災経験のある市町村長が集う

③災害対策支部機能の維

尽力していく。実りある 議論を展開し、水害被害 の防止に努めていただき

危機的渇水への対応、

対応できる国土づくりに たい」と呼びかけた。

文化・観光、交通・情報

通信・エネルギーインフ

地域を守る防災・減災対策を

問のあいさつ、大西三国 のあと①地域を守るため 交省治水課長の現状報告 に備えたタイムライン 田喬和每日新聞社特別顧 に必要な取り組み②水害

水需給バランスや安全で 出した。とくに水の適正 助社会づくりなどを打ち 成、多様な主体による共 海域、環境保全・景観形 ラ、国土基盤ストック、 ・有効な利用の促進では 防災・減災、国土資源・

聞



中環審専門委で検討

推進戦略を策定。気候変 に環境省への答申として 中環審は平成二十二年 | 動への対応など環境研究 は一段と増大しているこ ・技術開発の果たす役割

| 観・ライフスタイルを変

環境問題の解決に向けた

充実に努めていく。また

持続可能社会へ統合領域新設

共生政策の統合的アプロ 低炭素・資源循環・自然 申を行い、新戦略による とから昨年七月に意見具 ・チを求めていた。 素案によると、重点課

るとともに、国民の価値 題の統合領域では持続可 ビジョン・理念を明示す 一授)を開き、新国土形成 中京大学総合政策学部教 部会(部会長・奥野信宏 日、東京・霞が関の経済

国土審議会は六月五 水の 国土審 適正 新国土形成計| 計画と第五次国土利用計 有 画の最終報告案をまとめ 効な 画閣 利 用 議決定 促進

都道府県・政令市のヒア一報告案では分野別施策と リングやパブリックコメ から八月上旬をめどに閣 新国土形成計画の最終



計画部会が最終報告案

開発答

資源循環、自然共生、安全確保に加え、新たに統合領域を設けて持続可能な社会の実現に向けた 誉教授)を開き、新推進戦略の答申素案として今後五年間の重点課題を明らかにした。低炭素、 境研究・技術開発推進戦略専門委員会」(委員長・安井至独立行政法人製品評価技術基盤機構名 将来ビジョンを打ち出す。 中央環境審議会総合政策部会は六月二日、東京・霞が関の中央合同庁舎五号館で第十五回「環 七月下旬に正式に答申をまとめる予定だ。

評価などを行う。

マスなど廃棄物からのエ 寿命化・機能向上を図る

革するESD(持続可能

な開発のための教育)の

策・適応策に関する研究 を推進する技術・社会シ 現象の解明・予測・対策 づくり、 で気候変動に柔軟に対応 資源循環領域では3R 気候変動の緩和 地球温暖化 廃棄物の

めざす。

の環境管理・改善を図る ク評価・管理に関する研 物質などの包括的なリス 究、大気・水・土壌など 安全確保領域では化学

技術・システムの構築を

り組んでいく考えだ。



フルレ

							A		,)						
2-	h di	山産機	k /##\	墨田区墨田4-61-	13	〒131-0031	(141)	4	角 産	練馬区平和台3	-26-15	〒 179 - 0	0083	HE)	慶	吐-	渋谷区初台2-27-7	Ŧ	= 151 - 0061
[**	н ш	生 (茂	(1 本)	TEL(03)5247-7131	FAX	(03)5247-7133	(作本)	円		TEL(03)3931-070	1 FAX	((03)3931-(0702 "	PAT /			TEL(03)3370-6251 F	AX(03	3375-3910
	// 太白	営業	놀 하다	柏市十余二 348		〒 277 - 0872	// 東京西宮業所	÷₩	練馬区西大泉6	-10-2	〒178-0	0065	野村	機器	(##)	小平市小川町1-34	1-2 🕇	⁼ 187 - 0032	
[// 1i口	古未	: 171	TEL(04)7132-6361	FAX	(04)7132-9270		TEL(03)5387-561	1 FAX	(03)5387-	5610 3	בו, תה	कि ज्या	(1/1)	TEL(042)342-2211 F	AX(04	2)344-2211		
	11 110	岩営業	느머누니	江戸川区本一色2			J // ∟	//足立営業序	苯正	足立区保木間1	-11-2	〒121 - 0	0064	H ^ノコ	コー機材	7(7(天)	昭島市田中町1-36	-12 T	⁻ 196 - 0014
	// /] \.	一	₹P/I	TEL(03)3654-8111	FAX	(03)3651-1245	// 足立呂耒州	TEL(03)5831-080	1 FAX	((03)5831-	0800		יוישמוי ב	J (M)	TEL(042)543-8811 F	AX(04	2)546-5116		
	,, 11 J	\ 丈島営第		八丈島八丈町三柱	根398	F 100 - 1511] ,, _ਵ	す 飾 峃	5 学 类 示	葛飾区奥戸 6-4		〒124-0		// DZD	島支	r= L	昭島市田中町1-36	-12 T	⁻ 196 - 0014
	// / \X	.55古才	未乃门	TEL(04996)2-1402	FAX	(04996)2-2102	//葛飾営業所	TEL(03)5671-039	1 FAX	(03)5671-0	0394	// µ□	与 又		TEL(042)541-3652 F	AX(04	2)546-3536		
(±	±)	岡	本	新宿区新宿1-11-	15	〒160 − 0022	(<u>†</u> #)	明末 太计 :	1総業	杉並区荻窪3-4	7-15	〒167 - 0	0051	,, and 3	多摩支	- r=[羽村市羽加美1-7-	1 T	= 205 - 0016
株	TV	ІШ	4	TEL(03)3356-4871	FAX	(03)3356-4374	(例) 封 作) 形 未	TEL(03)3393-221	1 FAX	((03)3391-4	4227	// [2] 3	タぼ又 	. /白	TEL(042)554-1151 F	AX(04	2)554-7516		
	≥	地	(株)	墨田区本所1-33-	9	〒 130 − 0004] ,, =	// 東松山営業所	÷ * ≠===	東松山市六反町	J 15-12	₹ 355-0	0023	,, ¥	秋川支		あきる野市瀬戸岡42	5-8 🕇	⁻ 197 - 0803
倉	5	<u> </u>	(17/1)	TEL(03)3624-4441	FAX	(03)3622-6894		TEL(0493)23-292	1 FAX	(0493)23-9	9216	// 化	1人 川 又	一	TEL(042)559-5241 F	AX(04	2)559-5205		
	// \ \/.\	戸支		松戸市大橋白幡1			(##)	, ,	, =	杉並区荻窪3-4	7-17	〒167-0	0051	,, 1	(王子支		八王子市椚田町22		
$\parallel \parallel \parallel \parallel$	// 作五	广义	. /白 [TEL(047)391-5711	FAX	(047)391-5777	(TAN)		TEL(03)3391-221	1 FAX	(03)3392-5	5616	")	(工士)	√/□ [-	TEL(042)668-2261 F	-AX(04	12)668-2271	

発 行 所

(株)日本設備工業新聞社 東京都渋谷区桜丘町10-13 〒150-0031 野元第1ビル 電 話 (03) 3496-4774 代 FAX (03) 3464-1884

info@setubikougyo.co.jp (購読料郵税共) 年極8,000円



NEOREST

対応した研究・技術開発 事故に伴う環境問題に の発掘・活用や災害

ネルギー回収を促進する

科学的知見の充実・研究 究・技術開発などに力を 再生と生態系サービスの 持続的な利用に向けた研 多様性の保全をもたらす 技術開発、森・里・川 海のつながりの保全・

自然共生領域では生物